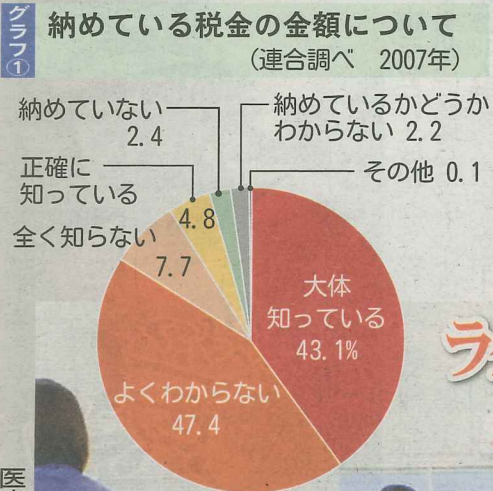


# The 情報源

確定申告が16日から始まる。通常、関係ないと思っているサラリーマンの一部には必要な人もいた。内容は年々変わってきた。今回はサラリーマンの確定申告を中心にして、誰にとっても関係ある「税」について考察してみよう。

「税」  
■誰にも関わりのある

2月に入ると「税金」についての話題が多くなってくる。「確定申告」が始まるのがその大きな理由だ。確定申告とはおもに事業者が、前年の収支を税務署に報告(申告)し、納める税を確定させる作業だ。イメージ的には個人事業主や自営業者たちが帳簿をもとに申告書を作成している姿が浮かぶだろうか。ドラマなどで「領収書がない!」などという慌てる場面な



## ラクだけど「納税意識が薄れる」年末調整

### 表1 サラリーマンが確定申告する主な場合

- 給与の年間収入が2000万円を超える人
- 給与を2ヵ所以上から受けている
- 家族全員の医療費が年間20万円を超えた
- 住宅ローンを組んで自宅を購入した
- 業務に関連した資格取得で学校に通った(特定支出控除)
- 寄付や「ふるさと納税」をした人
- 副収入のある人

どを見て、なんとなく彼らの苦労が伝わっている人もいるかもしれない。サラリーマンは会社の年末調整で済んでいる人が多いので、あまり関心がない人も多いようだ。しかし、これは源泉徴収制度によって会社が差額を調整し本人

に代わって申告しているだけで、誰もが税務署に申告していることに変わりはないのだ。源泉徴収制度は1940(昭和15)年に、戦時下の徴税を効率化するために導入されたもの。戦後もこの制度は続き、多くの給与所得者が確定申告の手続きから「解放」された代わりに

「納税意識が薄れる」との指摘も根強い。各種調査でもそれが裏付けられている(グラフ①)。ただし、確定申告は場合によってサラリーマンでもできる(表①)。まずはそこから「税」を身近なものにしていこう。

「自ら行う」のが原則  
「マイホームの新築の際に親から贈与を受けた場合、最高1000万円までが非課税になる制度がありますが、これを申告しない人が案外多いのです。あとで高い税金がかかりますので注意が必要です」と話すのは、TOMAコンサルタツグループの佐藤徹税理士。

「ふるさと納税」控除は必ず申告を  
医療費控除や住宅関係の申告はかなり知られるようになってきたが、確定申告は自ら行うもの。還付申告では数年間繰り越してできるものもあるが、先にあげた例では何も申告していない控除が受けられなくなってしまふのだ。

近なものに「ふるさと納税」がある。これは任意の自治体に「寄付」する形で「納税」し、翌年の所得税や住民税から寄付した金額が控除されるもの。各自治体からのお礼の品が送られてくるので、そのサービス内容でランキングが競われるほど注目されているのは「存じの通りだ」。

ただしこの「控除される」が注意点。ふるさと納税をした翌年に確定申告がなければ「ふるさと納税」と確定申告はセットと理解しておきたい(注)。

## 講座

### マイホーム新築で親から贈与→申告すれば最高1000万円まで非課税に

表2 「ふるさと納税」控除金額の例  
年収が1500万円、寄付金10万円の場合

所得税分	(10万円-2000円)×33% < 3万2000円
住民税分	① (10万円-2000円)×10%=9800円 ② (10万円-2000円)×(90%-33%)=5万5860円 ①+②=6万5660円
合計	9万7660円 (上記は一例であり、実際の軽減額と異なる場合あり)

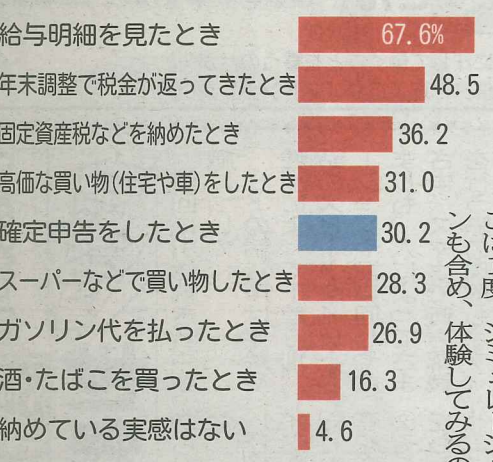
【TOMA確定申告無料相談会】  
今回取材にご協力いただいた佐藤税理士が所属するTOMAコンサルタツグループでは、3月6日(金)まで「確定申告無料相談会」を実施中(予約制)。会場=TOMAグループ応接室(東京駅八重洲北口 徒歩2分の丸の内トラストタワー本館3階)。申し込みは03・6266・2540 FAX03・6266・2556 http://www.toma.co.jp (Mail) toma@toma.co.jpへ

# 知らないで損するサラリーマンの確定申告



医療費控除で税務署を訪れた人たち

### グラフ② どんとき「税金を納めている」と実感するか (連合調べ 2007年)



「税」を身近に  
このようにサラリーマンと確定申告は、案外関係のある人も多くなっている。調査では30%を超えるサラリーマンが税を意識する項目に「確定申告をしたとき」と答えているのだ(グラフ②)。

ただ、実際に申告をした人こそでない人々を分けるのは、「手続きの仕方を知っている」点だ。なに「慣れ」も「習う」慣れ。体験があるかないかで意識に

も大きく変化が出るものだ。確定申告には「面倒」「難しい」といった先入観が強いのも確かなので、こ

こは1度、シミュレーションも含め、体験してみるのもいいだろう。時代も変わり、確定申告も手続きの簡易化や周知の拡大で、サラリーマンにも身近な存在になってきた。「少子高齢化などで消費増税も進んでいく今、税を知ること生活を守る発想がますます必要になってい

### 郵送OK! 面倒な手続きも簡易化

HPを開き(図①)、「ご利用の多い事例(医療費控除、寄附金控除など)の入力例」をクリックすると、そこからそれぞれの確定申告書作成の手引へ進める(図②)。指示にしたがって入力していく、最終的にはプリントアウトして、それにそのまま証明書や領収書を

